



# 男と女のいきいきコラム



男女共同参画社会の実現を目指して

VOL.70

## 皆さんの声

市では、平成16年3月に「土岐市男女共同参画プラン」を策定し、今年度はプラン実施期間の7年目に入っています。

そこで、本紙3月15日号と同時配布のチラシで「土岐市の男女共同参画」についてご意見をお寄せください。を全戸配布したところ、皆さんから「土岐市の男女共同参画」について貴重なご意見をいただきましたので、その一部をご紹介します。

●若い既婚男性は、男女共同参画の意識は高いが、「家事分担」や「育児参加」などで、何をどうしたら良いのか分からなくて、一歩踏み出せずにいる人が多いと思います。家庭が協力して営む「新しい家庭づくり」講座を開催してはどうでしょうか。

●男女共同参画について、広報などでいろいろお知らせがありますが、どれくらい関心を持って読まれているでしょうか？男女共同参画について「知らない」という人もまだ多いようです。今後いろいろな機会に男女共同参画についてアピールされることを願います。

●男女共同参画社会の意味を表面上だけでなく、もっと分かるように伝えてほしい。わが家では「老後豊かに生きていきたい」をいつも口にしていきます。もっと視野を広げ、いかにしたら家族・夫婦が豊かに、そして老いていけるか考えられる土岐市にしてほしい。

●女性が子育てから手が離れたときに就職できる施策を進めてほしい。また、各審議会に広く市民の声が取り入れられるよう公募を多くしていただきたい。

●男性と女性の性差を認めた上での「男女共同参画」でないとうまく進まないのではないかと。個性と能力は千差万別で、それぞれの持つものが十分生かされれば良いと思う。女性の参画率が低いと見るなら、適任の人材を育成することがまず必要です。若い人たちの現実の認識は、市のプランより先を走っているのではないかと思います。

市では、お寄せいただいた貴重なご意見を検討し、男女共同参画社会の実現を目指して今後の施策、事業を実施していきたいと考えています。

## しょうぼう119



住宅火災から大切な生命を守るために、住宅用火災警報器を設置してください

消防本部・☎0123

### 出動中の緊急車両にご協力を

市消防本部が1年間に出动する件数は、火災や救急出动などを合わせて、約2,500件を数えます。皆さんもサイレンを鳴らして市内を走行する消防車や救急車を見たことがあるのではないのでしょうか？

私たちは、少しでも災害の被害を小さくするため、また、助かるはずの命を救うため、いち早く現場へ到着できるよう、細心の注意を払い出動しています。

しかし、最近の自動車は居住性が向上し、サイレン音がなかなかドライバーへ伝わらず、緊急車両に気付くことが遅れる傾向があります。また、気付いてもどのように道を譲っていいのかわかってしまい緊急車両の進行を妨げるなど、1分1秒を争っている隊員にとって危険を感じるばかりか、到着時間が遅れることにもつながります。

ここで、緊急車両に遭遇した場合の、基本的な道路

の譲り方のポイントをお知らせします。

#### ◆緊急車両に気付くためには

- ①バックミラーなどで自分の車の周りに注意を払ってください。
- ②外の音が聞こえるよう、オーディオの音量を上げ過ぎないようにしてください。

#### ◆緊急車両に気付いたら

- ①道路の左側に寄って道を譲ってください。
- ②交差点付近の場合は、交差点内を避け手前で停車し、道路を譲ってください。
- ③緊急車両のアナウンスに従ってください。

安全により早く、消防車や救急車が到着できるよう、皆さんのご協力をお願いします。